

高出力ヒータ搭載 熱処理炉

Heat treatment furnace equipped with a high-power heater

電熱化に対応しながら

従来のガス焚き以上の加熱容量を実現

Achieves a heating capacity that is beyond conventional gas firing while maintaining compatibility with electric heating

加熱源をガス焚きから「電熱化」しCO₂排出量を削減※

これまでのガス焚きをしのぐ加熱容量を実現する高出力ヒータを開発。加熱源を電熱にすることにより、CO₂排出量の大幅な削減が可能です。

※電気を作り出す際に発生するCO₂量は、ご契約されている電気事業者により変動いたします。

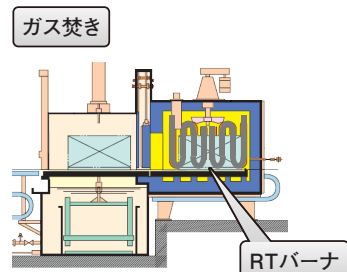
熱処理設備 電熱化のメリット

バーナ点火操作に比べて操作が容易

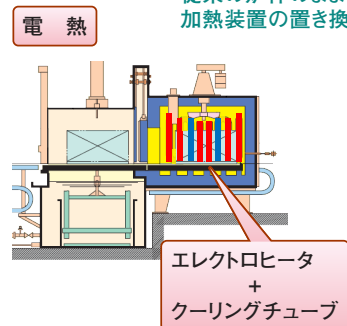
バーナ調整が不要

炉廻り配管が少なく、設備の簡素化が可能

炉外排ガスダクト、排ガス装置不要で
工事費削減が可能



従来の炉体のまま
加熱装置の置き換えが可能



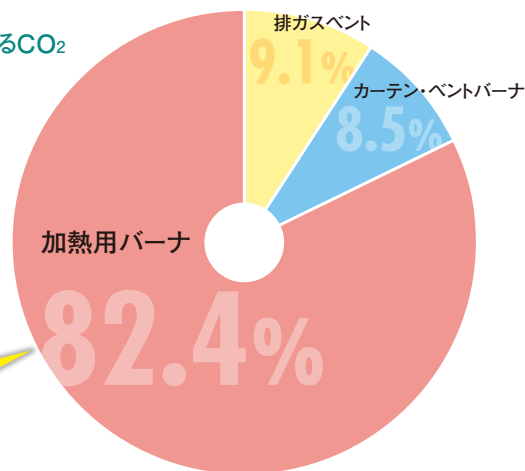
熱処理設備の電熱化によるCO₂排出削減量について

熱処理設備を電熱化することで、排出されていたCO₂のうち加熱用バーナからの排出分が削減可能です。

(例) バッチ型浸炭炉から排出されるCO₂

〈算出条件〉

- ・浸炭深さ 0.8mm狙い
- ・900kg/ch処理
- ・都市ガス使用



CO₂排出量 約**83%** 削減

バッチ炉のCO₂排出源内訳
(合計:0.119t-CO₂/ch)

